

日本製鉄グループ内で発生した5件の災害を情報共有します。
類似災害防止に活用下さい。

<日本製鉄グループ災害の概要>

1	10/14	山陽特殊製鋼株式会社	OVAKO	Hofors製鉄所
		・被災者	35歳	OVAKO従業員
		・休業見込	不明	
		・傷病名	左足中足骨骨折	
		・概要	コンベアー駆動チェーン切断による修理中に、自動運転が開始され、機械に左足を挟まれ被災した。	
2	10/31	日鉄鋼線(株)	静岡工場	
		・被災者	28歳	直線班
		・休業見込	1日	
		・傷病名	右示指圧挫傷	
		・概要	直線作業前の段取り作業において、鋼線をボルトクリップで切断しようとした際、軍手に付着した油によって手が滑り、ボルトクリップ内側のストッパー部で右手人差し指を挟みこみ被災した。	
3	11/1	日鉄鋼板(株)	西日本製造所〔尼崎地区〕	
		・被災者	62歳	大同商運株式会社
		・休業見込	約3週間	
		・傷病名	右肋骨骨折	
		・概要	6号ヤードで構内配替えの荷卸し時、製品に掛けているシートをめくる際、荷台上からトラックピット土間へ転落。	
4	11/16	日鉄ケミカル&マテリアル(株)	九州製造所	
		・被災者	49歳	山九株式会社/工友建設工業(株)新成工業
		・休業見込	90日	
		・傷病名	左股関節脱臼、寛骨臼骨折	
		・概要	梯子を昇り、仮設足場に乗り移る時、手を滑らせ墜落した。	
5	11/22	日本製鉄(株)	名古屋製鉄所	
		・被災者	21歳	日鉄テックスエンジ(株)
		・休業見込	120日	
		・傷病名	右大腿骨幹部開放骨折、右脛骨高原部骨折、右上腕骨幹部骨折	
		・概要	仕上クレーンの補巻ワイヤー取替作業中に補巻ドラムと床部の間に身体を巻き込まれた	

2022年 11月10日
山陽特殊製鋼株式会社

休業災害速報(社員)

発生事業所	OVAKO Hofors製鉄所		発生日時	2022年10月14日(土) 6時15分		
発生場所	熱間鋼管工場		作業区分	非定常作業		
被災者	所属	OVAKO従業員	役職	不明	勤続年数	10ヶ月
			年齢	35才	作業経験	8年
	氏名	A氏	性別	男	(構内経験)	—
傷病名	左足中足骨骨折			休業見込み日数	不明	

災害の概要 **コンベアー駆動チェーン切断による修理中に、自動運転が開始され、機械に左足を挟まれ被災した。**

災
害
状
況

- ・キャレッジ(仕掛枠)ローラーコンベアの駆動チェーンが切れ、保全担当者Aが修理のため現地に向かった。
- ・保全担当者Aはローラーコンベアの一部を横切り、チェーンが切れた箇所へ移動した。
- その時、キャレッジを別の場所に移動させようと他のラインオペレーターBが自動運転を行ったところ、保全担当者Aの隣にあったキャレッジが保全担当者Aの方へ動き始めた。
- ・ローラーコンベア上にいた保全担当者Aは、ローラーコンベア上を移動し逃げようとしたが逃げきれず、動いてきたキャレッジと搬送ローラーの間に左足が挟まれた。
- ※設備内へ立入る箇所にインターロックが設置されているが、コンベアの搬送ローラーは動かせる状態であった。

(発生状況の図、写真など)



図1 設備の概要

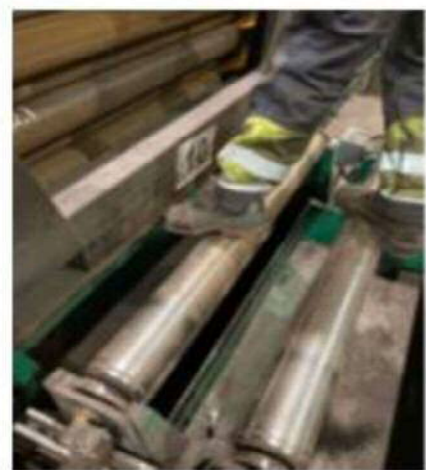


図2 被災時の写真

休業:1件
不休:1件

災害速報(休業)

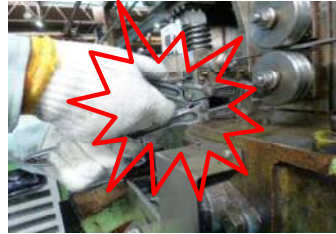
2022.11.2
日鉄鋼線(株)

発生箇所	静岡工場	発生日時	2022年10月31日(月) 9:30頃	
発生場所	直線 B-9号機	区分	定常作業	
被災者	職場 直線班	役職:派遣社員	勤続:1ヶ月	
	氏名 M氏	年齢:28歳	経験:1ヶ月	
傷病名	右示指圧挫傷		休業見込み	1日
被災概要	直線作業前の段取り作業において、鋼線をボルトクリップで切断しようとした際、軍手に付着した油によって手が滑り、ボルトクリップ内側のストッパー部で右手人差し指を挟みこみ被災した。			
	10/31 8:00 ・昼勤出勤。 ・被災者Mは指導者立会いの下、直線B-9号機の直線作業開始。 8:35 ・サイズφ5.15×211の切断作業完了。 9:00 ・次サイズφ5.15×251(鋼種:SWRM10-Z)の段取り作業開始。 9:30 ・鉄線を切断ブロックに通線させる為、線材の先端曲部をクリップで切断しようとした際に、右手が滑り、クリップ内側のストッパー部に右手人差し指の先端を挟みこみ被災した。その際に痛みはあったものの、一過性のものと自己判断し、そのまま作業を続けた。 12:00 ・昼休憩 13:00 ・昼休憩後、右手人差し指の痛みが増してきた為、直線班長に連絡。 13:05 ・直線班長から事務所スタッフ経由で製造部長に報告。 13:20 ・工場近傍の整形外科に通院(事務所スタッフ、派遣会社担当者付き添い) 14:20 ・診察開始。レントゲン撮影の結果、骨への異常無し。 患部に湿布を塗布され、痛み止めが処方された。 診断結果は『右示指圧挫傷』。 14:50 ・帰社。帰社後は軽作業に従事して定時に帰宅。 11/1 8:00 ・被災者より患部が痛むため、通院するとの連絡有り。 11:00 ・診察開始。右手人差し指先端と爪の間の血塊が肥大していたため、血抜き処理を行い、その日は自宅療養とした。 11/2 8:00 ・通常出勤。軽作業に従事中。			

《被災状況》 被災時の作業風景(安全カメラの画像)



発生状況



《対策(検討中)》

- ・グリップ(滑り止め付)付きボルトクリップに変更 等。

休業／不休／重大ヒヤリ 災害速報(社員／協力会社)

発生事業所	西日本製造所[尼崎地区]		発生日時	2022年11月1日(火) 9時 20分頃		
発生場所	6号ヤード トラックピット		作業区分	定常作業	分類区分	墜落、転落
被災者	所属	大同商運株式会社	役職	一般	勤続年数	30年5カ月
		尼崎営業所	年齢	62才	作業経験	30年5カ月
	氏名	A氏	性別	男・女	(構内経験)	(30年5か月)
傷病名	右肋骨骨折				休業見込み日数	約3週間

災害の概要 **6号ヤードで構内配替えの荷卸し時、製品に掛けているシートをめくる際、荷台上からトラックピット土間へ転落。**

11/1 9:05 15号ヤードで6号ヤード向け配替えコイル6コイル積込み完了、雨天の為シート掛けを行った。

9:20 6号ヤードへ入り、助手席側のシートをめくった後、荷台後部で運転席側のシートをめくる際(写真①)に荷台上からトラックピット土間(写真②)へ転落した。(アオリの高さ200mm)(足を滑らせて身体側面から転倒したと推測(本人ははっきり覚えていない))

9:25 連絡を受けた大同商運管理者は6号ヤードで状況確認。

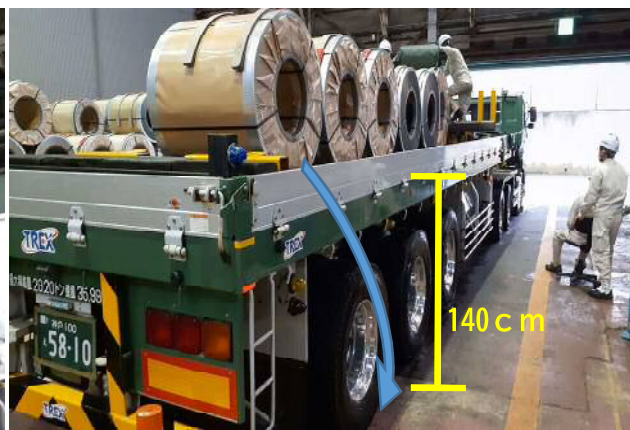
9:40 大同商運管理者は社有車で被災者を合志病院(尼崎市)へ診察の為同行。

13:30 被災者は診断の結果「右肋骨骨折」(約3週間の安静加療)で、大同商運管理者と共に帰社。

(発生状況の図、写真など)



①シートまくり作業

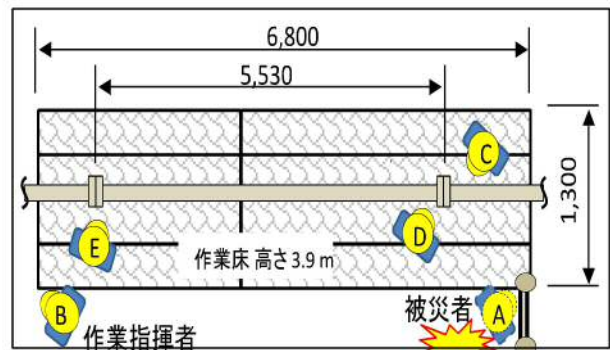
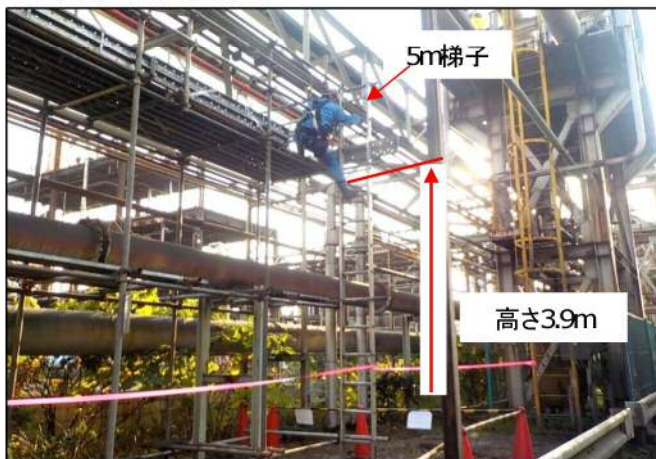


②転落場所

休業災害速報(協力会社)

発生事業所	日鉄ケミカル&マテリアル(株) 九州製造所		発生日時	2022年 11月 16日(水)9時20分頃		
発生場所	コールケミカル工場 タール班 産廃置場北側ACOライン		作業区分	定常作業		
被災者	所属	山九株式会社/工友建設工業	役職	一般	勤続年数	7ヶ月
		㈱新成工業	年齢	49才	作業経験	18年 7ヶ月
	氏名	A 氏	性別	男		
傷病名	左股関節脱臼、寛骨臼骨折			休業見込み日数	90日	
災害の概要	梯子を昇り、仮設足場に移り移る時、手を滑らせ墜落した。					
8:30	被災者Aは作業員4名と工事責任者で体操、全体朝礼後、ミーティングを行った。 作業内容:フランジボルト差替え、配管取外し、洗浄場への運搬 安全指示事項:高所作業時のハーネス使用、配管取外し時、カップ、顔面覆い、ゴム手袋の使用					
8:50	被災者Aと他4名は危険予知後、道工具を段取りし、現場に向かった。 (推定)被災者Aは充電インパクトレンチを準備してから現場に向かったため、遅れて現場に向かった。					
9:00	指揮者BはGL上で作業指揮を行った。 作業員3名は足場上でフランジボルト(80A)の状況を確認した。					
9:20	被災者Aは現場に到着し、作業員3名と合流するため、梯子を昇った。 被災者Aは仮設足場上に乗り移る際、手を滑らせ、墜落した。 (梯子にセーフティブロックは設置していたが被災者Aは使用していなかった)					
9:25	工事責任者はタール計器室に向かい、ボードマンに救急要請。⇒ボードマン115救急要請。					
9:35	救急搬送車到着					
10:30	製鉄記念八幡病院にて診察:全身CT、股関節レントゲン、処置:左股関節整復 11/18 or 11/21骨折部分手術予定(安静6週間、リハビリも含め入院3カ月予定)					

(発生状況の図、写真など)



休業災害報告書(協力会社)

発生箇所	名古屋製鉄所		発生日時	2022年11月22日(火) 17時20分頃		
発生場所	熱延工場 仕上クレーン		作業区分	修理作業		
被災者	所属	日鉄テックスエンジニア(株)	役職	一般	勤続年数	2年 7ヶ月
		名古屋機械整備部 保全技術Gr	年齢	21歳	作業経験	2年 1ヶ月
	氏名	A 氏	性別	男	(構内経験)	(2年 1ヶ月)
傷病名	右大腿骨幹部開放骨折、右脛骨高原部骨折、右上腕骨幹部骨折				休業見込み日数	120日

災害の概要 **仕上クレーンの補巻ワイヤー取替作業中に補巻ドラムと床部の間に身体を巻き込まれた**

災害状況	10:30	被災者Aを含む5名(工事責任者B、作業指揮者C、合図者D、クレーン運転者E)でミーティングを実施し、主巻ワイヤー取替作業を開始した。
	13:00	昼食休憩後、主巻ワイヤー取替作業を再開した。
	15:30	主巻ワイヤー取替作業を完了した。
	16:00	休憩後、補巻ワイヤー取替作業を開始した。
	17:15	旧ワイヤーと新ワイヤーを繋ぎ、クレーン運転者Eは合図者Dの合図を受けクレーン巻き上げ操作をした。
	17:20	被災者Aは補巻ドラムの東側にてワイヤーの巻取り状況の確認中、ドラムに固定しているワイヤー先端にフルハーネスの腿ベルトが引っかかりドラムと共に西側に回転し、ドラムと床部の間に身体を巻き込まれた。
	17:22	救急車を要請した。

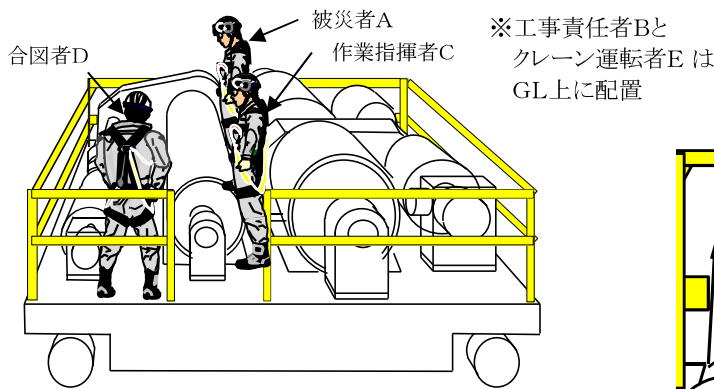


図1 被災時の配置図(鳥瞰図)

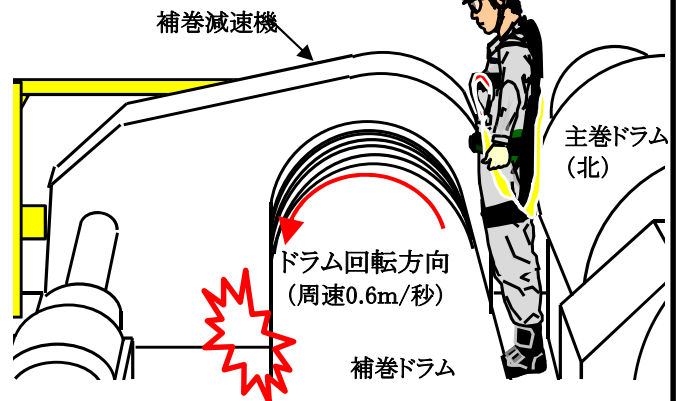


図3 被災者Aの立ち位置

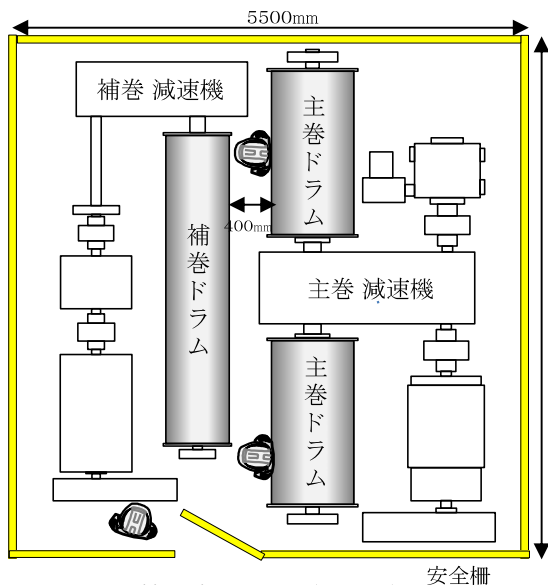


図2 被災時の配置図(平面図)

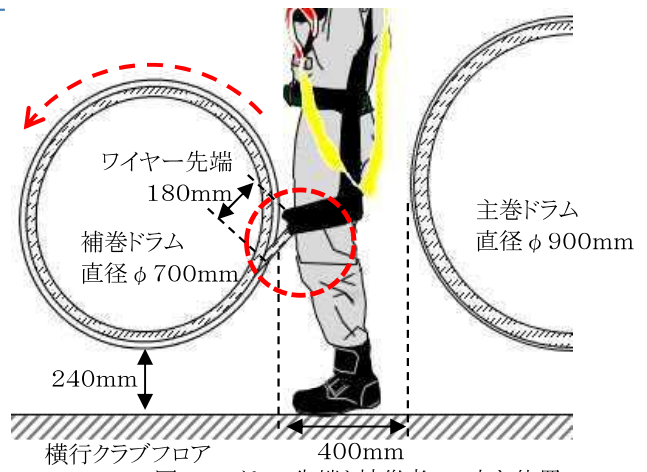


図4 ワイヤー先端と被災者Aの立ち位置